

節分



2月3日は節分。小規模はるかぜでは、「邪気払い」と「無病息災」を願い、一日を通して節分のイベントを行いました。

午前中は豆まき。みんなで色を塗った福のお面をかぶり、鬼に向かって丸めた新聞紙やテニスボールを投げました。鬼の口に穴が開いており、ボールをうまく口に入れようと皆さん集中。とても盛り上がりました。



午後は恵方巻づくり。のりで巻いた恵方巻は噛み切りにくいため、おやつも兼ねクレープ生地で恵方巻ロールを作りました。薄く焼いた生地にクリームと果物を乗せて。最後は全員で南南東の方角を向き、美味しくいただきました。これで皆さん、今年一年元気に過ごしましょうね。



「成年」ご家族からのおたより



今年は成年。小規模はるかぜの利用者さんには3人の年女がおられます。ご家族に一言メッセージをお願いしたところ、心温まるお手紙をいただきました。今回は岡山スエノさんをご紹介します。

1934年12月20日生まれ。野越え山越え谷越えて今年84歳、長寿おめでとう。今年は成年年女。成年生まれは我慢強く人情深いそうですよ。その通りですね。今まで支えてくれてありがとうございます。これからは私たちの番です。いつまでも元気で長生きして下さいね。



素敵なメッセージ
ありがとうございました。



職員発表・講演会情報

玉東町 健康を守る婦人の会

● 院長 清田 真由美



2月14日(水)玉東町中央公民館で健康を守る婦人の会主催の講演会が開催され、院長が講師を務めました。今回は、「中高年の女性が気になる・気にする病気」と題して尿に関する話題。

尿に関しては悩みながらも多くの女性が相談できずにいます。実際病院で検査をしてみたら、尿路感染症や腎結石、膀胱癌があったという場合もあります。尿漏れを気にして外出を控えると、足腰が弱ってしまいます。不安で何をすることも

集中できない、と日常生活にも大きく影響します。おしっこ問題は、皆さんが考えるより深刻です。今回の講演でいい見直しができた方も多かったようです。

10年以上になる玉東町婦人会の皆さんと院長の交流。仕事に家事に地域の事に、多方面で「要」となる女性をこれからもグループ全体で応援していきたいと思います。(医事課 平山)

新春 オカリナコンサート



1月17日(水)、新年初の演奏会が看護小規模はるかぜで開催されました。演奏者は大人気のオカリナクラブジェラードさん。



オカリナの優しい音色に皆さんもうっとり。また、今回はスクリーンに歌詞を映し、生演奏のカラオケで皆さん歌うことができました。

今年、年初めの演奏会にふさわしく大盛況でした。次の演奏会がまた楽しみです。



みんなで大変身 《 節分 》

毎年恒例の節分行事。いつもはスタッフだけが鬼になっていましたが、今回は利用者の方も鬼に大変身。

写真で顔につけているお面は、利用者さんと一緒に作りました。お互いが顔を見合って「良く似合っているね!」と大笑い。いつもとは一味違った節分になりました。

昼食のメニューは恵方巻き。みんなで南南東を向き、今年一年の健康を願いました。



ヒヤシンス 栽培中



看護小規模はるかぜでは2月からヒヤシンスを2つ育て始めました。

ペットボトルで作った容器に球根を置き、水栽培をしています。日に日に根が張ってきており、利用者の方も来所するたびに、「ちっとだけ伸びた気がする〜」と成長を楽しみにされています。

綺麗な花を咲かせられるよう、みんなで大切に見守っていきたいと思います。



(看護小規模はるかぜ 六嘉)